

## 令和3年度労災疾病臨床研究事業費補助金

### 「医学的知見に基づく裁量労働を含む長時間労働者に対する適切な面接指導実施のための マニュアルの作成に関する研究」(180701—01)

研究代表者：堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学単位）

#### 研究の目的

本研究は、過重労働を含む職業性ストレスによる健康障害を防止するために、海外も含めた医学的知見に基づき、多様な労働者に対して、キャリアの浅い嘱託産業医等でも、医師が適切に意見を述べることのできる面接指導実施マニュアルを作成することを目的とした。

#### 研究方法

本研究では、文献調査を基にして作成したマニュアルを、推定利用者が参加する研修で実際に用いて、その有用性の評価を行って改良を重ね、研修方法も含めて教材を開発している。

第3年度までに、マニュアルの改良版とともに、マニュアルを使用して行う実際の面接のやり取りを示す動画教材、および、面接で留意すべき解説を示す動画教材を作成した。

本年度は、新型コロナウイルス感染症流行に伴う緊急事態宣言のために第3年度に実施ができなかった都道府県医師会での産業医研修会におけるマニュアル（改良版）を用いた対面研修を、産業医科大学産業医学基本講座（東京開催）の受講生を対象オンライン形式の研修も追加して実施し、マニュアルの有用性を確認した。

#### 研究成果

改良したマニュアルについて、質の良さ、必要度、知り合いの医師に推薦するかどうか、問題への効果的な対処に役立つかどうか、全体的な満足度、面接指導で使用したいかどうかの6項目について、4件法で回答を求めた結果、いずれの項目も97%以上が「とても良い」、「良い」や「とても満足」、「まあまあ満足」などの肯定的な選択肢を選んでいった。年代別には、比較的若い世代（30歳代～40歳代）の医師の評価が高かった。研究期間を通して、改良毎に研修受講者の評価が向上したことを確認した。

#### 結論

以上の手順を経て、産業医経験が少ない産業医でも、適切な面接を行えるような実行しやすいマニュアル（2021年9月版：<https://www.mhlw.go.jp/content/000843224.pdf>）および動画教材（[https://www.youtube.com/watch?v=sPgxjWLp\\_ic](https://www.youtube.com/watch?v=sPgxjWLp_ic)）を完成させた。

#### 今後の展望

開発したマニュアルは、表のような特徴を有し、動画教材とともに用いて、研修のみならず遠隔での教授や自学自習も可能な教材として整備した。教授設計学（インストラクショナ

ル・デザイン) の手法を用いて授業設計書と研修で用いた資料を整備し、本研究で作成したマニュアルと動画教材を用いて、会場や講師が異なっても、一定レベルの研修を行うことを可能とした。

今後、産業医の自学自習および研修に活用され、高ストレス者面談の向上に貢献できればと希望している。

表. 医学的知見に基づくストレスチェック制度の高ストレス者に対する適切な面接指導実施のためのマニュアルの特徴

- 
- 海外の職業性ストレス対策に関する研究等医学的根拠を有する情報を取り入れて作成
  - 高ストレス者への面接指導の呼びかけや、面接指導を希望しない場合の対応方法を記載
  - 産業保健スタッフによる相談対応方法を記載
  - 事業場外専門家との連携のための準備について記載
  - 複数の産業医研修会でマニュアルを使用した研修を実施し、有用性や時間的なコストなどについて、産業医の意見を反映
  - 労務管理について造詣の深い法律家のチェックを受け、法的にも遺漏のないよう検討
  - 高ストレスをきたした裁量労働者への対応法を追記
  - 面接指導に当たって戸惑うことのある Q&A を作成
-